

【様式】

令和元（平成31）年度 学校マネジメントシート

学校名（ 三重県立津高等学校 ）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		「自主・自律」の校訓のもと、高い知性と教養を持ったリーダーが育つ学校
(2)	育みたい 児童生徒像	1 日常において「自主・自律」を実践できる、知・徳・体の調和のとれた生徒 2 主体的に学び、自らを律し、粘り強く努力することで、生涯にわたって自己実現を図るとともに、心豊かで、高い志を抱いて社会に貢献できる生徒
	ありたい 教職員像	1 子どもたちに対する愛情にあふれ、豊かな人間性、人権感覚を備えた教職員 2 目指す学校像の実現に向け、前向きでチャレンジ精神にあふれた組織風土の中で、同僚性を育み、自らの専門性を高め続ける教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>&lt;生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質が高く、生徒が能動的に取り組む授業</li> <li>・安全で安心できる学校生活と一人ひとりが大切にされる教育活動</li> <li>・総合的な学力の伸長と進路希望実現</li> </ul> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学力と人間力の伸長、そのための教育活動の充実、安全・安心な学習環境</li> </ul> <p>&lt;地域社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で信頼される「公立進学校」として、将来の社会を支える市民を育成するとともに、地域を活性化させる教育活動を行うこと</li> </ul>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な学校生活・学習環境</li> <li>・子どもの人間的成長と進路希望実現</li> </ul> <p>&lt;地域社会&gt;</p> <p>1 小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の学力および人間力の伸長</li> <li>・学習活動における連携・協力</li> </ul> <p>2 地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーとしての姿勢や態度の育成</li> <li>・地域活動への生徒の積極的な参加</li> </ul> <p>3 大学、研究機関等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的研究の理解と興味・関心の喚起</li> <li>・人的、物的な教育資源の活用</li> </ul> <p>4 卒業生（同窓会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自主・自律」の伝統の継承</li> <li>・同窓会活動における在校生との交流</li> </ul>	<p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校教育方針の理解と協力</li> <li>・相互の信頼に基づく意思疎通</li> </ul> <p>&lt;地域社会&gt;</p> <p>1 小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動における連携・協力</li> </ul> <p>2 地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民性、社会性を育む学習機会の提供</li> </ul> <p>3 大学、研究機関等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な研究活動の機会や場の提供</li> <li>・生き方や進路等を考える機会の提供</li> </ul> <p>4 卒業生（同窓会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自校教育」の機会の提供</li> <li>・生き方や進路等を考える機会の提供</li> </ul>

(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>○変化の激しい時代であるからこそ、育みたい生徒像を校内で議論し、改めて確認していく必要がある。</p> <p>○集中力や今後自分で生きていく真の力を付けていくためには、何かにじっくり真剣に取り組ませ、考えさせることである。</p> <p>○本来先生がやるべきところに時間を取れるよう、思い切ってどこをどう減らすか、具体的方策を考える必要がある。</p>
		<p>○授業改善や探究活動を核とするカリキュラム・マネジメントについては、具体的な検討が進んでいない現状であることから、教科横断的な視点から教育活動の改善を進め、学校の組織力向上を図る必要がある。</p> <p>○数字には表れない生徒の資質を多面的、多角的に評価するあるいは伸長を促す方法を、研究・実践する必要がある。</p>
(4) 現状と課題	教育活動	<p>○生徒の抱えている問題が多様化していることから、保護者だけでなく、多様な外部専門機関と連携をさらに進めていく必要がある。</p> <p>○時間外労働時間がかなり多くなっており、学校全体で業務の精選、総勤務時間の削減に向け、意識改革をしていくとともに、具体的方策を検討していく必要がある。</p> <p>○本校の教育活動が生徒にとってより魅力あふれるものになり、そのことが結果的に校外にも広く伝わるよう、学校全体の活動をより良いものにしていく必要がある。</p>
	学校運営等	<p>○生徒の抱えている問題が多様化していることから、保護者だけでなく、多様な外部専門機関と連携をさらに進めていく必要がある。</p> <p>○時間外労働時間がかなり多くなっており、学校全体で業務の精選、総勤務時間の削減に向け、意識改革をしていくとともに、具体的方策を検討していく必要がある。</p> <p>○本校の教育活動が生徒にとってより魅力あふれるものになり、そのことが結果的に校外にも広く伝わるよう、学校全体の活動をより良いものにしていく必要がある。</p>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「高い志」「自主・自律の精神」を育成し、高い次元での文武両道を実現し、生徒一人ひとりの人間力を高める。</li> <li>2. 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、探究的な学びの推進等、教科指導を充実し、確かな学力の向上を図るとともに、入学から卒業まで見通した進路指導を充実させ、生徒一人ひとりの自己実現・進路実現に取り組む。</li> <li>3. 他者を思いやる心、生命・人権を尊重する心、政治的教養、倫理観、規範意識などを育む教育の充実に努め、生徒の豊かな人格形成に取り組む。</li> <li>4. SSH事業を全校体制で推進し、生徒一人ひとりに「探究心」を醸成し、「創造性」「協働性」「課題解決能力」を育み、国際社会で活躍できる人材を育成する。</li> </ol>
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職員の資質能力の向上に取り組むとともに、教職員同士の助け合い・教え合いの文化を育み、教職員が一丸となって取り組む組織力ある学校づくりを行う。</li> <li>2. 教育活動や学校運営について組織的・継続的な改善を図るとともに、学校・家庭・地域との連携を強化し、学校力を高める。</li> <li>3. 業務の精選、総勤務時間縮減に向けた取組や教職員の満足度向上に向けた取組を通して、教職員が情熱とやりがいを持って、健康で働くことのできる環境づくりを行う。</li> </ol>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。  
 【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。  
 【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>質の高い授業づくりと学習習慣の確立</p>	<p>◇質の高い授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導や進路指導における専門性や実践力向上を図る取組を組織的に推進します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートの実施（年2回）</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケート項目「先生の熱心さ・態度」および「授業計画と対応」について、生徒の回答の③「ほぼ満足」および④「満足」の割合の合計の値が95%以上、かつ④の値が60%以上</li> <li>・授業アンケート項目「学力・技術力向上」および「生徒の満足度」について、生徒の回答の③「ほぼ満足」および④「満足」の割合の合計の値が90%以上、かつ④の値が50%以上</li> </ul> <p>◇学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣の定着を図るため、初期指導を充実させます。</li> </ul> <p>【活動指標・成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語、数学、国語の「学習ガイダンス」の実施</li> <li>・振り返りアンケートにおいて、各教科とも「役立った」「まあまあ役立った」の合計が90%以上</li> <li>・学習内容の定着を図るための指導について、組織的に充実を図ります。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度まで実施していた定期考査前の補習学習を廃止したことで、各教科・学年が主体的に考査前後における手立てをどの程度おこなったか。</li> </ul>	<p>7月に前期分の授業アンケートを実施しました。</p> <p>「熱心さ・態度」は④74.0%（③+④95.7%）、「授業計画と対応」は④66.5%（③+④93.3%）、「満足度」は④55.9%（③+④89.4%）、「学力・技術力向上」は④41.9%（③+④82.9%）でした。「学力・技術力向上」に課題があります（ここ数年同じ傾向）。後期分は臨時休校のため実施できませんでした。</p> <p>・学習ガイダンスを実施しました。</p> <p>・「ステップアップ講座」「フォローアップ講座」の実施、考査後の再試験・追指導の実施など、学年・教科が主体的に実施しました。</p>	<p>◎</p>

改善課題

・本校では「探究活動をすべての教育活動につなげる」ということ掲げていますが、そのことを意識して授業が展開されているかについては、各教員に委ねられている部分が多いというのが現状です。組織的な取り組みにしていくにはどうするかを検討する必要があります。そのことに関わって、近年、授業アンケートの質問項目を変えずに実施してきましたが、例年同じような結果となっていることもあり、その項目の見直しも視野に入れて「探究活動をつなげる」ことを実践していける組織づくりを目指したいと考えます。

項目	取組内容・指標	結果	備考
進路指導	<p>◇「自主・自律」の精神の涵養</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高い知性と教養を持ったリーダー」の土台となる「自主・自律」の精神の涵養を目指し、生徒が、必要な情報を自ら分析・判断し、実際に必要な行動に移せるような資質を養うことを目指します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が将来について考えられる機会の提供</li> <li>・日々の学習と社会の接点が意識できるような活動を提供することによる社会貢献の意識の醸成</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一進路希望実現率等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療セミナーなど校内外で実施される研修を案内し、多数の生徒が参加しました。記録用紙をもとに振り返ることで、自分自身の変化を認識することができました。</li> <li>・成果指標について、53%の生徒が11月時点の志望校（国公立、私立含む）に出願し、そのうちの60%が合格しました。</li> </ul>	※

#### 改善課題

・「日々の学習と社会の接点が意識できるような活動」について、今後検討していく必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
人権教育	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権を重んじ自由と責任を自覚した人間の基盤となる力をあらゆる教育活動の中で培います。</li> <li>2 生徒の自主性を大切にした人権学習を展開します。</li> </ol> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒人権委員会の活動（内容）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年ともに生徒人権委員会を中心とした人権感覚を養う学習が実施できました。</li> </ul>	◎

#### 改善課題

・人権学習の回数の減少もあり、グループ学習での活動は活発に行えたものの、出会い学習等の機会が少なかったといえます。来年度にむけてより質の高い人権学習の在り方について考えていく必要があります。

・委員会での仕事については、教科学習や考査に影響しないように配慮はしたものの、人権委員の仕事への負担感があったように思います。生徒が前向きに、主体的に取り組めるようにするためには、教員としてどういう働きかけをすることが有効か考えていきます。

項目	取組内容・指標	結果	備考
生徒指導	<p>1 基本的な生活習慣の確立を目指します。</p> <p>2 交通規則の遵守、交通マナーの向上を目指します。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全・登校指導週間、完全下校巡視、校内巡視の実施</li> <li>生徒会活動、HR活動、部活動、課外活動を奨励します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種教育活動の実施</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部活動加入率等</li> <li>互いの人格を尊重し、他人を思いやる心を育成します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種集会での講話等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶・登校指導の実施により、通学路の安全やマナーの向上につながっています。</li> <li>生徒会活動・部活動等によって自主自律の精神を養いました。</li> <li>互いの人格を尊重することをねらいとし、集会等での講話を実施しました。</li> </ul>	※

改善課題

- ・ いじめ、スマホ、自殺予防など生徒指導の今日的課題について、教員、保護者、関係機関等と連携を図りながら、未然防止や問題解決に努めて行く必要があります。
- ・ 部活動の活性化と顧問の負担について今後検討していく必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
国際教育	<p>◇SSH事業、マレーシア研修等を活用した国際交流活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際的な視野の育成を図ります。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次年度SSH台湾研修の計画立案</li> <li>マレーシアの現地校との交流の実施</li> </ul> <p>◇各種団体の主催する国際交流活動への参加を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県教育委員会主催の海外研修等への参加を推奨します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流活動参加生徒の、のべ人数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7/22～7/26 マレーシア研修を実施しました。(33名参加)</li> </ul>	

改善課題

- ・ SSH台湾研修の生徒募集について、良い経験をできることがしっかり伝わるように広報する必要があります。
- ・ 台湾の高校生との交流が、訪問して終了するのではなく、その後も継続して行われるような事業にしていく必要があります。
- ・ 各種団体の主催する国際交流活動について、全校生徒への広報の仕方を工夫していく必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
文化活動の推進	<p>◇読書生活指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校図書館を、読書生活を支える場・自主学習の場として捉え、幅広い知識と豊かな情操を養う資料を収集整備して、活用の充実に努めます。また、文化活動を通じて文化的教養を育成します。</li> </ul> <p>【活動指標、成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書環境の整備、利用の促進（貸出 4,500 冊、生徒貸出率 35%）</li> <li>・読書指導年間計画に基づいた学年・教科等との連携、および学習やLHRへの支援</li> <li>・各種コンクールへの応募、上位入賞目標</li> <li>・蔵書管理のシステム化、「学校図書館資料共有化ネットワーク事業」の推進</li> <li>・図書館を文化情報センターとして位置づけた、文化・学習にかかる情報収集と情報発信</li> <li>・文化講演会・読書週間行事（朗読会）・ビブリオバトル・推薦図書紹介・ギャラリー展示等の実施</li> </ul> <p>◇芸術鑑賞の奨励</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 PTA主催の芸術鑑賞補助事業等への参加を積極的に促します。</li> <li>2 芸術鑑賞会（古典分野）を実施します。</li> </ol> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞会の実施（10月1日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出 5,172 冊</li> <li>・生徒貸出率 30.0%</li> <li>・癒やしのコーナー、青空図書館、図書委員大賞、匠の部屋、創立139周年展、明治・大正の書物展、マレーシア研修展、天文部鉱物のお菓子展、一志病院との連携企画、文化講演会、黄昏時の朗読会、カバン作品展、車座トーク</li> <li>・第65回青少年読書感想文[全国コンクール]全国学校図書館協議会長賞(優良)1名、サントリー奨励賞(奨励)1名 [三重県審査]最優秀賞2名、優秀賞2名、優良賞1名</li> <li>・三重県総合文化センター大ホールにて「講演（立体怪談）」を実施しました。</li> </ul>	※

改善課題

- ・図書：読書は学問の基本なので読書が習慣となるよう引き続き粘り強く取り組む必要があります。また、図書館を憩いの場とするとともに、生徒の様々な興味関心を引くような場とするよう努める必要があります。
- ・芸術鑑賞：日頃体験できないような芸術作品に触れることのできる充実した内容を提供するとともにその日その時だけに留まらない企画にすべく、他の教育活動（授業や部活動、生徒会活動等）と連携した取り組みをしていく必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
健康教育	<p>◇保健管理と保健教育、健康相談</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 心身共に健康で安全な生活を自主的に実践できる能力および態度の育成に努めます。</li> <li>2 健康診断、健康相談の充実と事後指導の徹底に努めます。</li> <li>3 学年毎の健康重点目標に沿った健康教育の充実を図ります。</li> </ol> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健講話(各学年1回)・特別支援教育研修会(1回)の実施</li> <li>・「保健だより」の年10回発行</li> </ul> <p>◇救急時の対応</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全に対する意識を高める指導を行います。</li> <li>2 救急体制の充実を図ります。</li> </ol> <p>◇教育相談</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 全ての教育活動をととして、生徒の悩みや不安の解決に向けた支援や対応を行います。</li> <li>2 生徒を取り巻く環境を把握し、支援や対応を行います。</li> <li>3 保護者、担任、学年主任、保健室、部活動顧問等と情報を共有しながら支援や対応を行います。</li> </ol> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談専門員による教育相談の実施(年12回以上)</li> <li>・「教育相談だより」の年3回以上の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健講話は、1・2年生は1回実施しました。3年生は新型コロナウイルス感染症による休校のため資料配布のみ行いました。</li> <li>・「保健だより」を10回発行しました。</li> <li>・特別支援教育推進委員回を2回開催しました。</li> <li>・発達障がい支援員による教育相談を11回実施しました。</li> <li>・教育相談専門員による教育相談を15回実施しました。</li> <li>・「教育相談だより」を3回発行しました。</li> <li>・SCの緊急派遣による教育相談を1回実施しました。</li> </ul>	

#### 改善課題

- ・安全意識を高め事故の未然防止に努めるとともに、危機発生時の救急体制について、教職員の共有を継続する必要があります。
- ・生徒の抱える問題の多様化・複雑化に対応するためには、担任、養護教諭、保護者との日々の連携はもちろんのこと、特別支援員、時には病院の医師との連携も必要です。生徒の困り感の早期発見、情報共有、対応の必要性がますます重要となってきました。

項目	取組内容・指標	結果	備考
防災教育	<p>◇防災学習の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 避難経路、避難方法を年度早期において確認します。</li> <li>2 より実際的な場面を想定した避難訓練を実施します。</li> <li>3 「防災ノート」を活用した防災学習を実施します。</li> </ol> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練、防災学習の実施（年各1～2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に避難経路の確認、前期末には地震および火事を想定した避難訓練を実施しました。</li> </ul>	※

改善課題

- ・年度ごとに「HR中に」「授業中に」「休憩時間中（教員不在時）に」等、様々な場面を想定した避難訓練を実施し、生徒や教員に日常を見つめ直すきっかけを提供しています。今後も多様なケースを想定した訓練や学習を重ねることが効果的だと考えています。
- ・校内の設備に一部老朽化や耐震面で不安な箇所が見られるため、早急に改善を進める必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
探究的活動の推進とSSH事業への取組	<p>◇探究活動を核とし、全ての教育へつなげる科学教育システムの構築</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 探究心を醸成し、創造性、協働性、課題解決能力を育みます。</li> <li>2 SS探究活動を中心に、主体的・対話的に課題を追求できる仕組みを構築します。</li> <li>3 校内外の児童・生徒が相互に刺激を受けながら資質・能力を高め合う取組を実施します。</li> </ol> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「SS探究活動Ⅰ」において、「リベラルアーツ」、「夏季フィールドワーク」、「試行的な課題研究」の実施</li> <li>・「SS探究活動Ⅱ」において、1年間にわたる「課題研究」の実施、「SSH児童・生徒研究発表会」での研究成果の発表</li> <li>・「SS探究活動Ⅲ」において、2年次の研究成果の論文作成</li> <li>・「SS先進科学」「SS生命科学」「SS特別講義」の実施</li> <li>・「みえ科学探究フォーラム」、「国際科学技術コンテスト強化講座」等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「SS探究活動Ⅰ」において、「リベラルアーツ」、「夏季フィールドワーク」を実施しました。</li> <li>・「SS探究活動Ⅱ」において、「課題研究」を実施しました。</li> <li>・「SS探究活動Ⅲ」において、論文作成を実施しました。</li> <li>・「SS先進科学」「SS生命科学」「SS特別講義」を実施しました。</li> <li>・「SSH児童・生徒研究発表会」、「みえ科学探究フォーラム」、「国際科学技術コンテスト強化講座」を実施しました。</li> </ul>	◎

改善課題

- ・「SS探究活動」は、テーマ設定の時期に、その内容や手法についてさらに議論を深めておく必要があります。また、外部の発表会への参加や論文コンテストへの応募などの希望者を増やすことが課題です。学年、サポート教員、各教科や分掌、外部機関などと柔軟に連携を図りながら、より主体的に探究するよう、適切に支援する必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
環境・美化教育	<p>◇環境美化、公共性の向上に向けた取組</p> <p>【活動指標・成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美化委員会による清掃用具、清掃状況のチェックとフィードバック（月1回）</li> <li>・美化委員によるゴミ分別のチェック（原則毎日）</li> <li>・環境美化改善へ、生徒のアイデアを取り入れた取組の実施（年6回）</li> <li>・ペットボトルのキャップをエコキャップとして回収し、美化委員による洗浄・選別後、エコキャップ運動参加企業への持ち込み</li> </ul> <p>◇環境問題に対する意識の醸成</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境週間」を設け、その一日を「学校環境デー」として学校全体で美化活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコキャップは運動参加企業へ持ち込んだところ、63kgになり、ポリオワクチン15.8人分、栄養給食、鉛筆とノート、それぞれ5.3人分の寄付になりました。</li> <li>・学校環境デーを6月26日に実施しました。参加者は533人（うち生徒517人、職員16人）でした。</li> </ul>	

#### 改善課題

- ・ゴミの分別を徹底するため、清掃時間に美化委員がゴミ集積場でチェックをしているが、なかなか改善がみられない状況です。地域によって分別方法が異なることもあり、分別が紛らわしいものについては、生徒に周知を徹底させる工夫が必要です。
- ・ペットボトルのキャップ回収・学校環境デーについては、多大な時間と労力を要するため、次年度の分掌人数削減の折、やり方を考え直す必要があると考えます。

## (2) 学校運営等

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
授業力向上の取組と教育課程の研究・改善	<p>◇授業力向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究や授業公開、授業評価等をとおして、授業力の向上を図ります。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業力向上に向けた各教科の取組シート」の作成</li> <li>・全教科1回以上の授業公開の実施。学習指導委員が中心となり、他教科の授業見学を推進</li> <li>・教科内において、授業研究を実施・研究協議の充実・教員相互で、授業力を向上</li> <li>・保護者を対象とした授業公開の実施（3日間）</li> </ul> <p>【成果指標】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業力向上に向けた各教科の取組シート」を作成しました。</li> <li>・全教科において授業公開及び研究協議を行いました。</li> <li>・保護者対象の授業公開を3日間実施しました。</li> </ul>	◎

	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科における、授業アンケートの、授業改善のための資料としての活用、成果の検証</li> </ul> <p>◇「カリキュラム・マネジメント」の視点から、日々の教育活動について組織的に改善をおこない、また、探究的な学びの指導方法や評価方法についての研究を行います。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導委員会を中心とした様々な教員による、指導方法・評価方法の検討および実践の検証</li> <li>学習指導のあり方・宿題のあり方等について教員間で意見交換をする場の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業中のオフサイトミーティングにおいて学習指導のあり方等について意見交換をおこないました。</li> </ul>	
--	--	---	--

改善課題

・学習指導のあり方や宿題のあり方等については、教員間で考え方の差異があるのは当然ですが、その考え方を率直に出し合える教員集団にしていくべきであると考えられます。また、授業を遠慮なく見せ合える雰囲気づくりや授業力向上への意識を高めることが必要です。そのためにも、多忙化の解消・業務の効率化等にも取り組むべきであろうと考えます。

項目	取組内容・指標	結果	備考
<b>進路指導に関する情報共有</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路決定に必要な情報を学年団に随時提供し、データを効果的に活用した指導体制を構築します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高大接続改革等にかかる情報提供</li> <li>校内外の試験の結果を基にした学年での成績分析会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内外の成績データを基に分析会を実施し、情報交換や指導方針の共有を行いました。</li> <li>入試の変更点について、各学年と随時情報を共有しました。</li> </ul>	

改善課題

・様々な観点から見た生徒の資質や可能性を、教員間でさらに共有する必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
<b>人権教育に関わる情報、方法の共有</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の人権教育に関わる研修、フィールドワーク、研究会等への参加を促進します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「人権だより」の発行、研修会の開催等</li> <li>人権教育推進協議会の設置と情報の共有</li> <li>人権教育推進協議会の開催、人権教育推進計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生友の会に参加している生徒が、掲示にて仲間づくりの呼びかけを行いました。</li> <li>教職員研修会を8月に開き、「情報化社会と人権」について学習しました。</li> </ul>	

改善課題

・研修会への参加の呼びかけは適宜行えたものの、フィールドワークは実施できませんでした。学校の現状を考えると実施しがたい面もありますが、教員の人権感覚育成につながるよりよい研修機会が作ることができるように努力します。

項目	取組内容・指標	結果	備考
生徒情報および指導方法の共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの生徒理解に基づいたきめ細やかな支援を行います。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年会等での生徒情報交換の実施</li> <li>面談週間をはじめ、随時面談を実施</li> <li>綿密な保護者との連携、情報共有</li> <li>より良い関係性構築に向けた校内での情報共有</li> <li>特別支援教育にかかる教員研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年と分掌の情報共有を密にし、トラブルの早期解決・未然防止に努めました。</li> <li>教員特別支援教育研修会(1回)開催しました。</li> </ul>	◎

改善課題

・社会の変化に応じた生徒指導のありかたを意識し、生徒への声掛け、見守り、保護者・関係機関との連携を通したさらなる関係づくりを、チームとして実施していく必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
働きやすい職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の精選や改善、校内組織の点検等を行い、総勤務時間縮減を図ります。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定時退校日を月に1日</li> <li>部活動休養日を週に1日</li> <li>放課後に開催され60分以内に終了する会議の割合を85%</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時間外労働時間3時間/月削減</li> <li>休暇取得日数2日/年増加</li> <li>月80時間を超える時間外労働者を延べ73人削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時退校日を定時退校週間に月に1日、部活動休養日を週に1日設けることとしました。</li> <li>60分以内に終了した会議の割合は75.4%(昨年度84.7%)でした。</li> <li>時間外労働時間平均は38.4時間(昨年度42.2時間)でした。</li> <li>休暇取得日数平均は17.2日(昨年度17.1日)でした。</li> <li>月80時間を超える時間外労働者は63人(昨年度147人)でした。</li> </ul>	◎ ※ ※

改善課題

- ・時間外労働時間はほとんど削減できず、業務の改善を考える必要があります。月 80 時間を超える時間外労働者については減少が見られ、定時退校週の設定や部活動の休養日の設定等成果が見られます。

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>広聴・広報活動</p>	<p>◇学校関係者評価委員会による学校評価を実施します。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者評価委員会の実施（年 2 回）</li> </ul> <p>◇ホームページ（HP）の活用、自治会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に HP を通じた情報発信を行います。また、「津高校だより」等を通じて、地域の方々等に本校の現状や取組についてお知らせします。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP の更新（週に 2 回程度）</li> <li>・「津高校だより」の発行（月 1 回程度）</li> </ul> <p>◇津高入門講座、学校見学会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の「素」の姿を中学生や保護者をはじめとした方々に公開し、本校の教育活動を理解していただくとともに、更なる改善につなげます。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津高入門講座（8/22）、学校見学会（8/28, 29、10/13）の実施</li> </ul> <p>◇学校 PR 用ポスターの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校 PR 用のポスターを広報活動に活用します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校への配付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2 回実施しました（6 月・2 月）</li> <li>・HP を通じて情報発信に努めました。</li> <li>・HP のトピックス更新 52 回（年間）、</li> <li>・「津高校だより」6 回発行（年間）</li> <li>・津高入門講座、学校見学会を予定通り実施しました。ともに 1000 名近い参加があり、好評でした。</li> <li>・本年度版の学校 PR ポスターを作成し、各中学校へ配付しました。</li> </ul>	

改善課題

- ・学校ホームページをより利便性の高いものにしていく等、地域の方々や中学生、保護者等の期待や思いに寄り添い、伝えるべきことが効果的に伝わるように、また必要な情報がすぐに発信できるように、広報活動全体をより良いものとしていく必要があります。
- ・本校の教育活動そのものが、校内の生徒にとってより魅力あふれるものになり、そのことが結果的に校外にも広く伝わるよう、学校全体の活動をより良いものとしていきます。